

領域「人間と社会」

領域の目的

1. 福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を養う。
2. 人間関係の形成やチームで働く力を養うための、コミュニケーションやチームマネジメントの基礎的な知識を身につける。
3. 対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につける。
4. 介護実践に必要な知識という観点から、社会保障の制度・施策についての基礎的な知識を身につける。
5. 介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養う。

授業科目	社会の理解		授業形態	講義	単位数	2単位	
担当者	伊藤和雄						
ナンバリング	W21L201	開講時期	前期	授業時間数	30時間	授業回数	15回
必修・選択	介護福祉士受験資格：必修			実務経験のある教員による授業科目		該当する	
ディプロマ・ポリシーとの関連	(1)理論と技術を学び、専門職としての自覚および技術を持つ。						○
	(2)専門性を持った職業人として社会で活躍でき、自己の向上と自己実現および生涯学習の足がかりを作ることができる。						
カリキュラム・ポリシーとの関連	(1)基礎から応用へと発展するカリキュラムを編成し、幼児教育および介護福祉に関する専門知識と技能を段階的に修得できる教育を実施する。						○
	(2)実習を通して理論と実践のつながりを理解するカリキュラムを編成し、幼児教育および介護福祉に関する実践力を養う教育を実施する。						
	(3)学生と教員の対話を重視し、学生個人の特性や持ち味を生かした教育を実施する。						
授業の概要・方法	社会保障制度の概要を理解するとともに、介護保険制度及び障害者自立支援制度の創設の背景と目的を理解し、介護保険制度の見直しや背景、目的及び基本的視点を理解したい。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度の意義を説明できる。 ・介護保険制度と障害者総合支援制度を説明できる。 ・両制度の活用の仕方を説明できる。 ・「コミュニケーション能力」(1)「人間や人間の生活、社会についての知識・理解」を身につける。 						
授業計画	第1回	テーマ	社会と生活のしくみ①				
		内容	生活の幅、生活の基本機能、ライフスタイルの変化				
		授業時間外学修	予習：シラバスを熟読し、授業のイメージを膨らませる。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第2回	テーマ	社会と生活のしくみ②				
		内容	家族の機能と役割、社会・組織の機能と役割、地域の機能と役割、社会構造の変容を学ぶ。				
	第3回	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。				
		テーマ	地域共生社会の実現に向けた制度や施策①				
	第4回	内容	地域福祉の発展、地域共生社会の考え方を学ぶ。				
		授業時間外学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第5回	テーマ	地域共生社会の実現に向けた制度や施策②				
		内容	地域包括ケアシステムの考え方しくみを学ぶ。				
		授業時間外学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第5回	テーマ	社会保障制度①				
		内容	社会保障の基本的な考え方、日本の社会保障制度の発達を学ぶ。				
		授業時間外学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。				

第 6 回	テーマ	社会保障制度②
	内 容	日本社会保障制度のしくみの基礎的理解、現代社会における社会保障制度を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 7 回	テーマ	高齢者福祉と介護保険制度①
	内 容	高齢者福祉の動向を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 8 回	テーマ	高齢者福祉と介護保険制度②
	内 容	高齢者福祉に関連する法体系を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 9 回	テーマ	高齢者福祉と介護保険制度③
	内 容	介護保険制度を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 10 回	テーマ	障害者福祉と障害者保健福祉制度①
	内 容	障害者保健福祉の動向学ぶ。
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 11 回	テーマ	障害者福祉と障害者保健福祉制度②
	内 容	障害者保健福祉に関する法体系を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 12 回	テーマ	チームマネジメント①
	内 容	介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材の育成や活用等の 人材管理について学ぶ。
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 13 回	テーマ	チームマネジメント②
	内 容	マネジメントに必要なリーダーシップ、フォロワーシップ等、チーム運営の基本を 学ぶ。
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 14 回	テーマ	介護実践に関連する諸制度①
	内 容	保健医療に関する制度、施策を学ぶ。
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第	テーマ	介護実践に関連する諸制度②

	15	内 容	貧困対策・生活困窮者に関する制度・施策、地域生活を支援する制度・施策を学ぶ。
	回	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
		第 16 回	定期試験
教科書・テキスト	中央法規出版 介護福祉士養成講座「社会の理解」、適宜資料配付		
参考書・参考資料等	中央法規出版 「介護福祉士国試ナビ」 「介護福祉養成講座全巻」		
成績評価の方法・基準	筆記試験と提出してもらった課題レポートにより、領域「人間と社会」に関する理解の程度(60%)、「コミュニケーション能力」(1)の獲得の程度(25%)、授業参加度(15%)で評価する。		
課題に対するフィードバックの方法	定期試験については、採点后講評する。		
授業時間外学修	予習(各授業回 30 分)、復習(各授業回 30 分)として、授業計画で示した内容を実施する。 介護福祉士国家試験対策学習(1 日 90 分)		
備 考	実務経験のある教員による授業科目である。 担当教員は、介護老人福祉施設で 26 年間介護業務、相談援助業務、介護計画作成等に従事した実務経験を持つ。 その経験を踏まえ、具体的事例を交えて理解できるようサポートする。		
連絡先(質問等)	オフィス・アワー 火曜日 12 時 25 分～12 時 50 分 対面での質問・回答を優先したいので適宜応じる。		

授業科目	社会福祉演習		授業形態	演習	単位数	2単位	
担当者	伊藤和雄、荒木隆俊、松田水月、宮地康子						
ナンバリング	W52S202	開講時期	前・後期	授業時間数	60時間	授業回数	30回
必修・選択	介護福祉士受験資格：選択			実務経験のある教員による授業科目		該当する	
ディプロマ・ポリシーとの関連	(1)理論と技術を学び、専門職としての自覚および技術を持つ。						○
	(2)専門性を持った職業人として社会で活躍でき、自己の向上と自己実現および生涯学習の足がかりを作ることができる。						○
カリキュラム・ポリシーとの関連	(1)基礎から応用へと発展するカリキュラムを編成し、幼児教育および介護福祉に関する専門知識と技能を段階的に修得できる教育を実施する。						○
	(2)実習を通して理論と実践のつながりを理解するカリキュラムを編成し、幼児教育および介護福祉に関する実践力を養う教育を実施する。						
	(3)学生と教員の対話を重視し、学生個人の特性や持ち味を生かした教育を実施する。						
授業の概要・方法	介護実践に必要な知識を習得する。国家試験の受験対策を主とする。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士としての知識を習得する。 ・「学び続け、成長し続ける能力」(2)「実践の経験を再編成して、専門的知識・理解・技術へと高めることができる」能力を身につける。 						
授業計画	第1回	テーマ	介護福祉士国家試験とは (担当 伊藤・荒木・松田水・宮地)				
		内容	介護福祉士国家試験の概要				
		授業時間外学修	予習：介護福祉士国家試験のイメージを膨らませる。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第2回	テーマ	国家試験対策 (担当 伊藤)				
		内容	人間と社会の領域科目①				
		授業時間外学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第3回	テーマ	国家試験対策 (担当 伊藤)				
		内容	人間と社会の領域科目②				
		授業時間外学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第4回	テーマ	国家試験対策 (担当 伊藤)				
		内容	人間と社会の領域科目③				
		授業時間外学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第5回	テーマ	国家試験対策 (担当 荒木)				
		内容	介護領域科目①				
		授業時間外学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。				
	第6回	テーマ	国家試験対策 (担当 荒木)				
		内容	介護領域科目②				
		授業時間外学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。				

	学修	復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第7回	テーマ	国家試験対策 (担当 荒木)
	内容	介護領域科目③
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第8回	テーマ	国家試験対策 (担当 荒木)
	内容	介護領域科目④
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第9回	テーマ	国家試験対策 (担当 松田水)
	内容	こころとからだのしくみ領域科目①
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第10回	テーマ	国家試験対策 (担当 松田水)
	内容	こころとからだのしくみ領域科目②
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第11回	テーマ	国家試験対策 (担当 宮地)
	内容	こころとからだのしくみ領域科目③
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第12回	テーマ	国家試験対策 (担当 宮地)
	内容	こころとからだのしくみ領域科目④
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第13回	テーマ	国家試験対策 (担当 伊藤・荒木)
	内容	模擬試験の解説①
	授業時間外 学修	予習：不正解、理解不足問題の解説を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第14回	テーマ	国家試験対策 (担当 伊藤・荒木)
	内容	模擬試験の解説②
	授業時間外 学修	予習：不正解、理解不足問題の解説を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第15回	テーマ	国家試験対策 (担当 松田水)
	内容	医療的ケア領域①
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第16回	テーマ	国家試験対策 (担当 宮地)
	内容	医療的ケア領域②

	回	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分(指示)を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	第 17 回	テーマ 内 容	国家試験対策 (担当 伊藤) 過去問①
		授業時間外 学修	予習：国家試験過去問題の解説を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	第 18 回	テーマ 内 容	国家試験対策 (担当 伊藤) 過去問②
		授業時間外 学修	予習：国家試験過去問題の解説を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	第 19 回	テーマ 内 容	国家試験対策 (担当 伊藤) 過去問③
		授業時間外 学修	予習：国家試験過去問題の解説を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	第 20 回	テーマ 内 容	国家試験対策 (担当 伊藤) 過去問④
		授業時間外 学修	予習：国家試験過去問題の解説を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	第 21 回	テーマ 内 容	国家試験対策 (担当 伊藤) 過去問⑤
		授業時間外 学修	予習：国家試験過去問題の解説を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	第 22 回	テーマ 内 容	国家試験対策 (担当 伊藤) 過去問⑥
		授業時間外 学修	予習：国家試験過去問題の解説を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	第 23 回	テーマ 内 容	国家試験対策 (担当 伊藤) 過去問⑦
		授業時間外 学修	予習：国家試験過去問題の解説を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	第 24 回	テーマ 内 容	国家試験対策 (担当 伊藤) 過去問⑧
		授業時間外 学修	予習：国家試験過去問題の解説を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	第 25 回	テーマ 内 容	国家試験対策 (担当 伊藤) 過去問⑨
		授業時間外 学修	予習：国家試験過去問題の解説を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	第	テーマ	国家試験対策 (担当 松田水・荒木)

	26 回	内 容	模擬試験の解説①
		授業時間外 学修	予習：不正解、理解不足問題の解説を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	第 27 回	テーマ	国家試験対策 (担当 宮地・荒木)
		内 容	模擬試験の解説②
	第 28 回	授業時間外 学修	予習：不正解、理解不足問題の解説を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
		テーマ	国家試験対策 (担当 伊藤)
	第 29 回	内 容	国家試験に向けて各自の弱点科目に取り組む①
		授業時間外 学修	予習：各自の学習計画に沿った対策 復習：学習内容の要点をノートにまとめる。
	第 30 回	テーマ	国家試験対策 (担当 伊藤)
		内 容	国家試験に向けて各自の弱点科目に取り組む②
	第 30 回	授業時間外 学修	予習：各自の学習計画に沿った対策 復習：授業内容の要点をノートにまとめる。
		テーマ	国家試験対策 (担当 伊藤)
第 30 回	内 容	これまでの授業の振り返り、ワークシートを用いまとめを行う。	
	授業時間外 学修	予習：既習内容を振り返り、疑問点、理解不足の点をまとめる。 復習：疑問点、理解不足の点について既習内容を確認する。	
教科書・テキスト	「介護福祉士養成講座全巻」(中央法規出版) 「介護福祉士国試ナビ」(中央法規出版) 適宜資料を配布する。		
参考書・参考資料等	「介護福祉士国家試験過去問題集」(中央法規出版) 「介護福祉士国家試験模擬問題集」(中央法規出版)		
成績評価の方法・基準	講義内容の理解を確認する模擬試験等により、4領域(人間と社会、介護、こころとからだのしくみ、医療的ケア)に関する理解の程度(60%)、「学び続け、成長し続ける能力」(2)獲得の程度(25%)、授業参加度(15%)で評価する。		
課題に対するフィードバックの方法	適宜、解説の機会を設けるとともに、質問に応じる。		
授業時間外学修	予習(各授業回 30分)、復習(各授業回 30分)として、授業計画で示した内容を実施する。 介護福祉士国家試験対策学習(1日 90分)		
備 考	実務経験のある教員による授業科目である。 担当教員の伊藤は、介護老人福祉施設で26年間介護業務、相談援助業務、介護計画作成等に従事した実務経験を持つ。 担当教員の宮地は、病院、介護老人福祉施設で9年間看護師として従事した実務経験を持つ。 担当教員の松田(水)は、病院、公的機関で9年間看護師、保健師として従事した実務経験を持つ。 担当教員の荒木は、介護老人福祉施設で11年間介護業務等に従事した実務経験を持つ。 その経験を踏まえ、具体的事例を交えて理解できるようサポートする。また、各教員連携をとりながらサポートする。		

連絡先（質問等）	オフィス・アワー 伊藤：火曜日 12時25分～12時50分 宮地・松田(水)・荒木：月曜日 12時25分～12時50分 対面での質問・回答を優先したいため適宜応じる。